



2006 (平成 18) 年 9 月 25 日

各 位

会 社 名 生化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 水 谷 建
(コード番号 4548 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 矢倉 俊紀
(TEL. 03 5220 8950)

Can Fite BioPharma Ltd.との炎症性疾患治療剤に関する ライセンス契約の締結について

生化学工業株式会社 (本社：東京都千代田区、社長：水 谷 建) は、イスラエルのバイオベンチャーであるキャンファイト バイオファーマ社 (本社：ペタク・ティクヴァ、CEO：プニーナ フィッシュマン、以下「Can Fite 社」) と、Can Fite 社が権利を有し開発中の低分子化合物アデノシン A3 レセプターアゴニストに関するライセンス契約を締結しましたので、お知らせします。

この契約により生化学工業は、日本における炎症性疾患 (眼科領域を除く) を適応とした本化合物の開発・製剤製造・販売権、サブライセンス権を取得し、関節リウマチ*を優先的な目標疾患として、2008 年をめどに日本における臨床第 Ⅰ 相試験の開始を目指します。また、Can Fite 社に対して、契約締結時に一時金および Can Fite 社が実施する臨床試験への支援金として総額 3.5 百万ドルを支払うとともに、今後、開発の進捗に応じたマイルストーン等を支払う予定です。

本化合物は、炎症局所で高レベルに発現するアデノシン A3 受容体に選択的に働きかける物質です。炎症の発症に関与する細胞内情報伝達や炎症性サイトカインの産生を抑制する作用が考えられており、新規のメカニズムを有する安全性の高い抗炎症剤となることが期待されます。現在、Can Fite 社では、米国、欧州およびイスラエルにおいて臨床第 Ⅱ 相後期試験を行っており、これまでに実施してきた試験から関節リウマチ患者での臨床効果が確認されています。また、Can Fite 社の検討において、その他の炎症性疾患・自己免疫疾患においても有効性を示唆する研究データが得られつつあり、関節リウマチ以外の疾患での展開の可能性も期待されています。

生化学工業は、複合糖質および関節疾患に重点をおいた新薬開発や炎症、免疫、アレルギー領域を目標疾患とするインライセンス活動を強化し、開発テーマの拡充に努めています。今回、本化合物がパイプラインとして新たに加わることにより、関節疾患治療の領域における事業基盤の拡大と、患者の皆様の QOL (生活の質) の向上に貢献できることを期待しています。

以 上

< ご参考 >

* 「関節リウマチ」

代表的な自己免疫疾患です。免疫機構の異常により、慢性かつ多発性に関節部位に炎症

がおこり、腫れや強い痛みを発症します。炎症が進行すると関節の軟骨部分や靭帯、さらには骨そのものが破壊され、関節の変形と機能障害が起こります。日本では 60～70 万人が罹患しており、発症時期は 30～50 歳代に多く、女性の患者の方が男性の約 3 倍といわれています。

【Can Fite 社概要】

社名： Can Fite BioPharma Ltd. (キャン -ファイト バイオフーマ社)
所在地： Petach Tikva, Israel (イスラエル ペタク・ティクヴァ)
CEO： Pnina Fishman (プリーナ フィッシュマン)
設立： 2000 年
株式： Tel Aviv Stock Exchange (テルアビブ証券取引所) に上場
事業内容： アデノシン受容体を標的とする、がん、感染症、炎症、自己免疫疾患の
治療薬の開発

以上

本件に関するお問い合わせは次にお願いたします。

生化学工業株式会社

総務部 IR・広報担当 鳥居美香子、田中 優

TEL. 03-5220-8950